

2025年度教育力研究開発機構事業報告

中央大学教育力研究開発機構

1. 本大学及び他の教育機関における大学教育の現状についての調査研究（ICTの利活用に関する調査研究を含む）

(1) 本大学における教育の現状についての調査研究

1) 本学における学修に関するビッグデータの分析方法についての調査研究

【2025年度】

- ・授業アンケートが授業改善のPDCAにより資するよう、授業アンケートの設問改訂について企画課と協同して行う。
- ・BIツール「IRQuA」等を用いた分析を企画課と協同して行う。

【2025年度実績】

- ・2026年度授業アンケートの設問変更について、企画課の依頼に基づきアドバイスを行った。
- ・佐々木研究員による2024年度学部授業アンケート分析に「IRQuA」を利用した分析を行った。

2) 本学における各種アンケートデータの分析・フィードバック方法についての調査研究

【2025年度】

- ・2024年度分の授業アンケートについて分析を行い、学内向け分析報告会の実施及びFD推進委員会へのフィードバックを行う。

【2025年度実績】

- ・佐々木研究員が、2024年度学部授業アンケートについて分析を行いFD・SD推進委員会（2025年6月26日）及び学内報告会（2025年7月29日）にて報告を行った。分析にあたり、教育力研究開発機構において「教育力研究開発機構における生成系AI利用ルール」を策定し、自由記述の分析にローカルLLMを利用した。
- ・国際経営学部にて、授業アンケートについてのFD研修会を行った（2025年9月17日、佐々木研究員講師）。

(2) 他の教育機関における大学教育の現状についての調査研究

1) 他の教育機関での先行事例等の調査研究

【2025年度】

- ・証明書のオンライン（PDF）送付について他大学での先行事例を調査し、学内への提案を行う。

【2025年度実績】

- ・証明書のオンライン（PDF）送付について先行事例を調査し、学部長会議及び研究科委員長会議に提案を行い予算を確保した。引き続き導入に向けて調整を行う。

2) 他の教育機関との情報ネットワークの構築

【2025年度】

- ・高等教育に関する各種研究会・セミナー等に研究員が参加し、他機関の情報収集及びネットワーク構築を

進める。

【2025年度実績】

- ・2025年5月31日、6月1日の高等教育学会に工藤研究員、澁川研究員が参加し、工藤研究員がセッション発表した。
- ・2025年6月7日、8日の大学教育学会に工藤研究員、澁川研究員が参加し、それぞれセッション発表した。
- ・大学セミナーハウス新任教員研修会（2025年8月18日開催、澁川研究員講師）
- ・大学コンソーシアム八王子第14回FD・SDフォーラム分科会「通信制高校から通信制大学への進学～入学から卒業まで～」(2025年8月26日開催、澁川研究員講師)

2. 大学教育の新たな在り方についての調査研究（ICTの利活用に関する調査研究を含む）

(1) With コロナ/After コロナを見据えた柔軟な教育手法（オンデマンド教材を活用した反転授業等）の調査研究

【2025年度】

- ・学内におけるオンライン手法やデジタルツールを活用した授業に関する好事例を継続して収集し、Web公開を行う。
- ・2023年度に策定した「DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた指標」について、実施結果の検証を行う。
- ・生成系AIの教育実践への実現可能性を調査・分析し、その知見に基づいて教職員向けの生成系AIの活用戦略を提案する。

【2025年度実績】

- ・2025年度後期について、グッドプラクティスインタビュー2件を掲載。
- ・「DXによる効果的で質の高い学修の実現に向けた指標」について、実施結果の検証を行い、修正案を検討した。
- ・2025年10月29日、生成系AIの授業への活用と学生への通知について、教員と意見交換するためのワークショップを企画、実施した。
- ・教育課程における「生成系AI」利用上の注意事項について（学生向け）について、教育力研究開発機構研究員が原案を作成し、2026年3月9日学部長会議で承認され、Webサイトで公開している。

(2) メディア授業告示対応のための調査研究

- ・オンライン授業を活用したカリキュラム・コースデザインについての調査研究を行い、学内外へ情報発信をする。

(3) 高等教育政策や国際的動向等に関する調査研究

- ・中教審答申「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～」についての調査研究。特に、認証評価の新制度移行についての調査及び研究成果の社会的発信を行う。

【2025年度実績】

- ・工藤研究員が、認証評価の新制度移行について調査し、学内への関係組織と情報共有し、対応の方向性について意見交換した。

3. 大学教育力向上に資する教育の技法及びシステムの開発（学修成果評価とそれに基づく学修者の学修サイクルの改善に資する技法及びシステムの開発を含む）

（1）学修成果の把握・可視に係る技法の研究開発

【2025 年度】

・学修成果を可視化するツールとしてのオープンバッジの更なる有用性・活用方法を調査研究し、オープンバッジ 2.0 から 3.0 への移行等を通じて、学内でのオープンバッジの活用を推進する。

【2025 年度実績】

・オープンバッジ 3.0 について、7 月 1 日から移行を開始し、9 月より 3.0 でのバッジ発行を開始した。
・八王子市と中央大学との聴講生制度利用によるオープンバッジ発行についての検討を行い、「中央大学×八王子市 人財育成共創プログラム」を 2026 年度から開始する（2026 年 1 月 20 日調印）。

（2）学生ポートフォリオに関する調査研究及び開発

【2025 年度】

・学生・学習ポートフォリオの利用範囲拡大に向けた施策（ゼミ選考での利用等）を調査・検討し、学部への提案を行う。

・学生・学習ポートフォリオへの理解を深め、積極的に活用してもらえるよう教職員や学生に対して広報（説明）する機会を設け、利用率を向上させる。

【2025 年度実績】

・学生向けのポートフォリオガイダンスを研究員が実施した（国際経営学部、国際情報学部）。
・学生書き込み開始に伴い、ポートフォリオの操作方法や活用についてのショート動画を佐々木研究員が制作、公開した。
・4 月理工学部、6 月商学部、11 月国際経営学部、12 月 FD・SD ミニセミナーにおいて、研究員が教員向けのポートフォリオ活用の FD 研修会を行った。
・外国語科目の担当教員らと語学の授業におけるポートフォリオ活用の可能性を意見交換した。
・ポートフォリオの利用拡大に向けた施策として機能追加を行い、2025 年 9 月よりショーケース機能を学生に公開、教員向けにはモデル学生を設定し活用を促した。

（3）データに基づく教育・授業改善手法に係る研究・支援（教学 IR）

【2025 年度】

・授業アンケートが授業改善の PDCA により資するよう、授業アンケートの設問改訂について企画課と協同して行う。

【2025 年度実績】

・2026 年度授業アンケートの設問変更について、企画課の依頼に基づきアドバイスをを行った。

（4）教育・学修データの利活用に係る研究・支援（個人情報保護・セキュリティ対応含む）

【2025 年度】

・学生・学習ポートフォリオ運用にあたり、各学部におけるポートフォリオのアクセス権設定については、教育力研究開発機構が提供する個人情報保護のための各種措置（システム運用監視体制に係る情報提供や研修を含む）を踏まえた議論を各学部に行っていたいただき、その結果を反映する。

【2025 年度実績】

- ・ポートフォリオのダッシュボード機能（DP 到達スコア）を各組織において活用してもらうため、各学部検討の結果、全学部の専任教員に対して、12 月よりダッシュボード機能を閲覧可能としアクセスを拡大した。

4. 前三号の活動を基礎とする本大学の教育の改善に関する提案及び本大学の教員が行う教育活動への支援

(1) 授業全般における効果的な教育手法に関する教職員向けコンサルティングと解決支援

【2025 年度】

- ・剽窃チェックツール Feedback Studio の 2026 年度以降の利用について、教員のニーズ調査・利用状況を踏まえたうえで、各学部と調整を行い予算を確保する。

【2025 年度実績】

- ・6 月 9 日～7 月 1 日で全教員対象にアンケートを実施し、利用状況や要望等を収集した。その結果を 7 月 7 日開催の学長・学部長懇談に共有し今後の利用については、2026 年度も全学部で利用することを確認し教育力研究開発機構より予算申請を行い 2026 年度予算を確保した。
- ・本ツールを活用している教員 3 名にインタビューを行い、利用するメリットや改善点などをヒアリングした。

(2) 遠隔授業における技術的諸課題に関する教職員向けコンサルティングと解決支援

【2025 年度】

- ・教務総合事務室管轄（教育力研究開発機構・メディアラボ）の教員向けの教育に関する Web サイトやコンテンツを再編成し、授業支援サイトとして一元化し公開する。

【2025 年度実績】

- ・教育力研究開発機構・メディアラボが管轄している教員向けの Web サイト・コンテンツについて、授業支援ポータル（学内限定サイト）として情報を一元化し、9 月中旬リニューアル公開を行った。

(3) 授業における知的財産権等に関する教職員向けコンサルティングと解決支援

【2025 年度】

- ・授業における著作権等に関する啓蒙のため、依頼に基づき出張授業等を行う。

【2025 年度実績】

- ・教職課程を履修する学生に対し、6 月 13・25 日、7 月 7 日、12 月 10 日の「教育の方法と技術」で、酒井著作権担当職員が、出張授業「著作権について考えよう」を行った。
- ・2025 年度の教職員からの著作権問い合わせは全 38 件（3/12 現在）。

5. 大学教育に関する研修

(1) 教育力向上に資する研修用コンテンツの開発と提供

【2025 年度実績】

- ・澁川研究員が、教員向けの「本学の ICT ツールの活用」についてのオンデマンドコンテンツを作成し、2026 年度新任専任教員を始めとして、教員へ公開予定。

(2) 教育力向上に資する各種講演会・研修会等の開催

【2025 年度】

- ・ 調査研究を踏まえた講演会等を実施する。
- ・ 学内のみではなく学外の各種研修会への講師派遣を行う。

【2025 年度実績】

- ・ 第 16 回 EDIX 教育総合展東京 特別セミナー (2025 年 4 月 24 日開催、教務総合事務室西條講師)
- ・ 東京福祉大学 SD 研修会 (2025 年 7 月 10 日、工藤研究員講師)
- ・ 2024 年度授業アンケート分析結果報告会 (2025 年 7 月 29 日開催、佐々木研究員講師、工藤研究員パネラー) 81 名参加
- ・ 大阪国際大学・短期大学 FD・SD 研修会 (2025 年 7 月 30 日、澁川研究員講師)
- ・ 八王子セミナーハウス大学教員研修セミナー (2025 年 8 月 5・18~19 日、澁川研究員講師)
- ・ 『知の回廊』第 165 回「通信教育とこれからの学びのかたち」(2025 年 8 月 9・24 日放送、澁川研究員出演)
- ・ 第 14 回大学コンソーシアム八王子 SD・FD フォーラム (2025 年 8 月 25~26 日、澁川研究員コーディネーター)
- ・ 新任教員対象 FD 研修会「授業外活動も含めた授業 1 コマのリデザインを考える」(2025 年 9 月 3 日、澁川研究員講師)
- ・ 早稲田大学アカデミックソリューション QuonAcademy (クオンアカデミー)「認証評価と内部質保証の基礎セミナー」(2025 年 9 月 10 日、工藤研究員講師)
- ・ 国際経営学部 FD 研修会 (2025 年 9 月 17 日、佐々木研究員講師)
- ・ 新潟大学教育基盤機構未来教育推進コア FD・SD (2025 年 10 月 24 日、澁川研究員講師)
- ・ FD ワークショップ「生成系 AI 活用・対策道場！」(2025 年 10 月 29 日、工藤・佐々木・澁川研究員講師)
- ・ 大学基準協会大学評価研究所公開研究会 (2025 年 10 月 31 日、工藤研究員講師)
- ・ ShinXia シンポジウム 2025 (2025 年 11 月 17 日、澁川研究員講師)
- ・ FD・SD ミニセミナー「学生・学習ポートフォリオの活用について」(2025 年 12 月 18 日、工藤研究員講師)
- ・ FD ワークショップ「授業支援システムを使いこなそう」(2026 年 2 月 4 日、工藤・佐々木・澁川研究員講師)
- ・ 経済学部 FD 研修会「生成 AI の活用」(2026 年 3 月 4 日、佐々木研究員)
- ・ 東大 TV20 周年記念シンポジウム オープンエデュケーションの未来：大学と社会をつなぐ新たな学びに向けて「通信制からみる学びのゲームチェンジャー」(2026 年 3 月 12 日、澁川研究員講師)
- ・ 株式会社 SIGEL オンラインセミナー「大学教育における学修ポートフォリオ活用セミナー」(2026 年 3 月 18 日、工藤・澁川研究員講師)

6. 本大学における教育力向上に資する活動に関する連絡調整

- (1) 授業に関する各種技術的サポート等についてワンストップサービスの在り方の検討
- (2) 各種授業支援に関する「よろず相談窓口」の開設

7. その他本大学における教育力向上に資する活動

(1) SARTRAS（授業目的公衆送信補償金等管理協会）への申請及び利用報告への対応支援

【2025 年度】

- ・ SARTRAS の利用報告及び補償金分配への対応を行う。

【2025 年度実績】

- ・ 2025 年度分の SARTRAS への申請・登録及び過年度の分配への対応を行った。
- ・ 利用報告への対応（指定：5 月／国際情報学部 233 件、10 月／商学部 55 件）

(2) 教育力研究開発機構研究レポート（仮称）の発行（Web 媒体・コンテンツの蓄積）

(3) ディスカッション・ペーパーの発行

【2025 年度】

- ・ 研究成果について、ディスカッション・ペーパーを発行し教育力研究開発機構 manaba コースに掲載する。

【2025 年度実績】

- ・ 教育力研究開発機構ディスカッション・ペーパー要綱を定め、今後リポジトリを通じて研究成果を公開予定。

以上